



UD TRUCKS

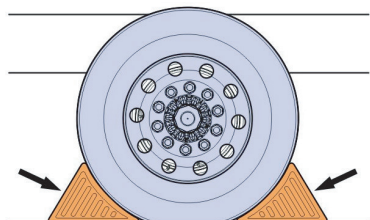
Quon 2017年モデル以降

Vロッドボールジョイント部点検方法について

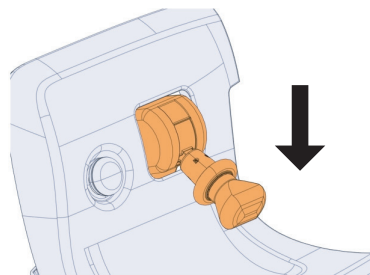
Vロッドについては、緩み、損傷の点検は、3か月点検毎の定期点検項目となっています。ボールジョイント部にガタが発生している場合、内部で摩耗が進行している可能性があるため、交換および修理を行わずに長期間使用し続けると、最悪の場合ボールジョイント部が外れ走行不能に至るおそれがあります。そのため、定期点検時の注意事項について案内いたします。



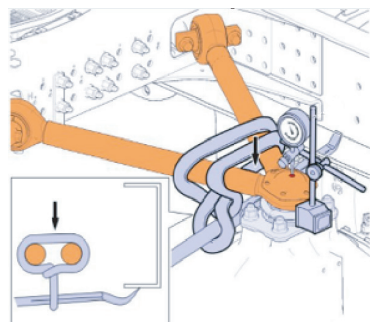
◆Vロッドボールジョイント部の点検方法について(3か月毎の点検項目)



- 1** 車両停車・エンジン停止状態にてホイールに輪留めをします。



- 2** パーキングブレーキを解除します。
※測定は車両接地状態で行います。
※エアサス車は車高中立位置にしてください。



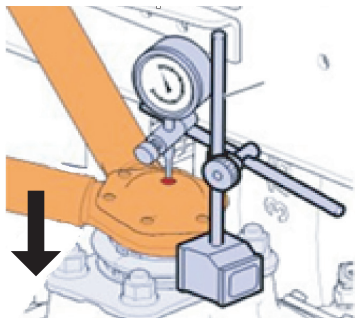
- 3** ラッシングベルト等をロッド部に巻き付けます。

※ベルトはφ120cm程度のものがおすすめです。

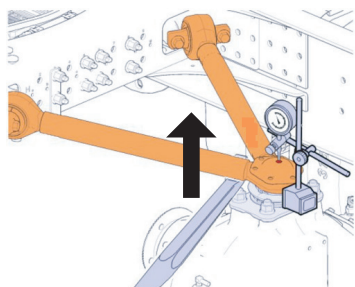


おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証・補償の対象になりませんのでご注意ください。

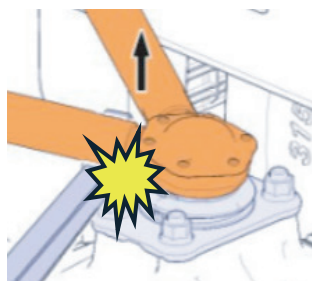


- 4 上記ベルトを介し、ボールで下方向に力を加えた状態でダイヤルゲージを0点セットします。



- 5 ベルトを外しボールを上方向へ力を加え、ダイヤルゲージでガタ量を測定します。

基準値：1.0mm以下であること

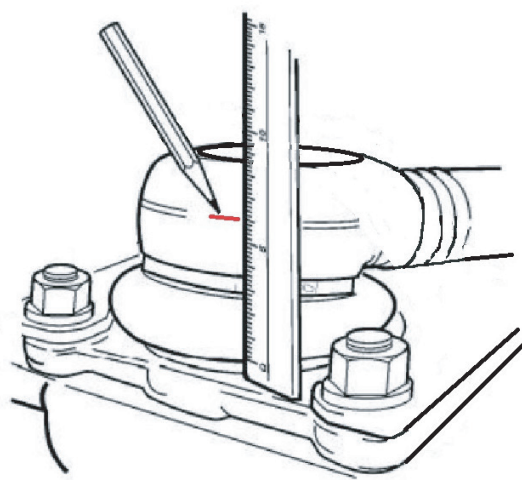


注記

Vロッドのラバーブーツに損傷がないことを目視にて確認してください。
ボール等でラバーブーツを傷つけないように注意してください。

◆ 点検の結果、ガタ量が基準値を超えている場合やラバーブーツに損傷または割れがある場合は、部品交換もしくはオーバーホールの実施をお願いします。

- 架装の状況などにより、ボールジョイント部の上部にダイヤルゲージの設置が困難な場合、カバー取り付けボルト付近での測定やスケールにて代用が可能です。



おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証・補償の対象になりませんのでご注意ください。